

# 一望!! 真田幸村と真田丸

NHK大河ドラマ「真田丸」で脚光をあびる真田幸村が、このあべのハルカスの直下で徳川家康の大軍を相手に激闘を繰り広げました。慶長19年(1614)の「大坂冬の陣」、慶長20年(1615)の「大坂夏の陣」で、のべ50余万人が命をかけた合戦場のすべてを、この展望台から見渡せます。幸村ファン、戦国ファン、そして歴史ファンみなさまに武者たちの戦いぶりを、リアルに感じていただくためのパノラマ展示を企画しました。展望台の窓にちりばめたビュースポットをめぐる、「大坂の陣」の迫力をお感じ下さい。

歴史考証および展示内容監修  
きたむら たかし  
阪南大学 来村 多加史 教授



## 展示案内

「冬の陣」と「夏の陣」の戦いを屏風・ビューパネル・『歴史人』記事で視覚していただけます。右の順序で全方位をご覧ください。

### 冬の陣

慶長19年(1614)11月19日に火蓋を切った冬の陣は、大坂城を守る豊臣勢約9万人に対して、徳川勢約20万人が攻撃をします。戦いは大坂城をめぐる包囲戦となりました。「大坂冬の陣図屏風」で攻守城戦の細部をご覧ください。北の窓から大坂城と真田幸村が大活躍した真田丸、徳川家康が本陣を構えた茶臼山などをご確認ください。

### 夏の陣

慶長20年(1615)4月26日に前哨戦が始まった「夏の陣」は5月6日の道明寺合戦と八尾・若江の野戦で豊臣方が撤退したあと、5月7日に天王寺・岡山の戦いで大勢が決しました。その日の夜に大坂城が陥落し、翌日に豊臣秀頼と母の淀殿が自害をして終結したのです。とはいえ、真田幸村をはじめ、豊臣方の武将もよく戦い、一時は家康を窮地に追い込みました。「大坂夏の陣図屏風」には、武将たちの活躍ぶりが克明に描かれています。あべのハルカスは合戦場の真ん中に建っていますので、全方位の窓から戦いのさまざまなシーンを眺めていただけます。

